

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス心堂2号店		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 23日		2026年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2026年 1月 23日		2026年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の方達の全体的な「満足度」の 카테고리では、概ね良い評価をいただけたようです。	利用児童に限らず、常にご家族も意識しながら支援を行っています。	日頃から、利用児童、ご家族との細やかなコミュニケーションをとっていきたくと考えています。
2	「適切な支援の提供」という 카테고리でも概ね良い評価を頂きました。	利用者の課題点や強みをスタッフ全員で振り返り協議する時間をケースカンファレンスという枠で毎週行い、個別支援計画を作成しています。また個別支援計画の作成時に保護者へ支援内容を伝える際に、わかりやすく共有することを心がけています。	「適切な支援の提供」という 카테고리内では、地域の他のこどもと活動する機会については課題が残っています。ただ、保護者の方からは、交流自体について、慎重なご意見も頂いており、交流というイベントが保護者の方や利用児童達の不安や負荷にならないような設定が必要不可欠であると感じています。
3	「非常時等の対応」という 카테고리でも概ね良い評価を頂きました。	定期的な避難訓練などの実施とその様子などについて発行物で保護者の方にお知らせしています。また感染症に関しては、状況に応じて保護者の方と連携をとらせて頂くとともに、市内の感染状況の共有など行っています。	感染症対策部門、安全対策部門での非常時への訓練や研修の企画と、職員全員での振り返りによる適切な行動のブラッシュアップなど行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他のこどもと活動する機会については課題を感じるとともに、困難さも感じています。	小1～高3という幅広い年齢の生徒児童が同じ場所で活動を行い、且つ障害特性も個々によって様々な差がある子ども達が利用している放課後等デイサービスという施設の特性上、外部の生徒児童と一緒に活動する＝一緒にあそぶとなると、年齢設定や内容などに困難さを感じています。	機会の創出が、実際に利用児童にどういったメリットがあるのかは議論をしていきたいと考えています。
2	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているかについては課題を感じています。	個別対応が必要な児童が毎日複数名利用しているため、イベント進行や、接客などのスタッフの配置を想定すると、必要な支援が手薄になってしまわないか、不安があります。	機会の創出が、実際に利用児童にどういったメリットがあるのかは議論をしていきたいと考えています。
3	活動スペースについて、状況によっては個別支援にとって有効な個室が不足なくなることがあります。	集団活動が困難な利用児童に個室で個別支援を行っているタイミングで、他の利用児童のおむつ交換などの排泄介助が重なった時などに、個室は1つなので、対応を求められます。	現状はパーティションなどで工夫しながら、簡易的な個室を作って対処しています。